

第3章 統計区別世帯と住居

第3-1表 世帯数の多い統計区

1 世帯

(1) 世帯数

白石区の4004-1統計区（東札幌、中央）が13,377世帯で最も多い（第3-1表、第3-1図）

令和2年10月1日現在の世帯数を統計区別にみると、10,000世帯以上の統計区は13統計区、7,500～10,000世帯未満の統計区は24統計区、5,000～7,500世帯未満の統計区は50統計区、2,500～5,000世帯

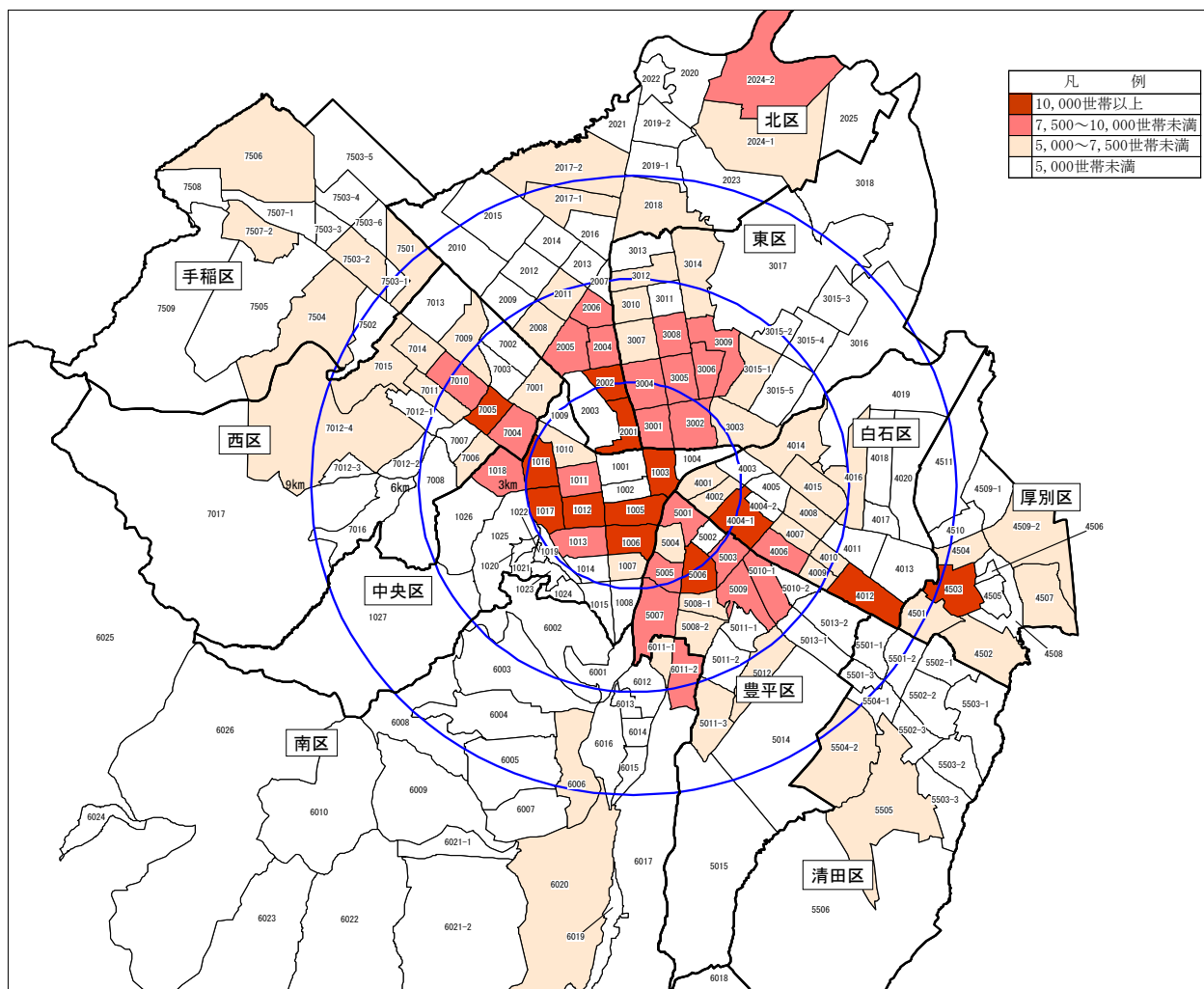
令和2年10月1日現在

順位 1)	統計区番号及び主な地区・町名	世帯数
1 (1)	4004-1 白) 東札幌、中央	13,377
2 (31)	1005 中) 豊水地区、西創成地区	12,810
3 (10)	1012 中) 大通地区、西地区	12,519
4 (18)	2002 北) 幌北地区	12,507
5 (2)	4012 白) 栄通、南郷通、本通南	12,294
6 (23)	2001 北) 鉄西地区、幌北地区	12,118
7 (7)	5006 豊) 豊平、美園、平岸	11,708
8 (3)	1017 中) 南円山地区、円山地区	11,443
9 (22)	1006 中) 豊水地区、曙地区	11,310
10 (8)	7005 西) 琴似	11,189
11 (15)	1003 中) 東北地区、東地区	11,133
12 (5)	1016 中) 円山地区、桑園地区	11,001
13 (6)	4503 厚) 厚別南、厚別中央、大谷地東	10,249
14 (30)	7004 西) 二十四軒	9,915
15 (26)	3005 東) 北光地区、北栄地区	9,702

注：1) () 内は人口の多い順位。

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

第3-1図 統計区別世帯数（令和2年10月1日現在）



注：人口が皆無の6002、6007及び6008統計区を除く。

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

未満の統計区は65統計区、2,500世帯未満の統計区は54統計区（世帯が皆無の3統計区を含む。）となっている。

世帯数が多い統計区をみると、白石区の4004-1統計区（東札幌、中央）が13,377世帯で最も多く、以下、中央区の1005統計区（豊水地区、西創成地区）が12,810世帯、中央区の1012統計区（大通地区、西地区）が12,519世帯などと続いている。

このうち、中央区の1005統計区（豊水地区、西創成地区）は、単身者が多く居住していることから、人口規模に比べて世帯数が多くなっていると考えられる。

(2) 平均世帯規模

豊平区の5015統計区（西岡）では平均世帯規模が3.00人を超える（第3-2表、第3-2図）

令和2年10月1日現在の一般世帯（住居と生計を共にしている人の集まり又は一戸を構えて住んでいる単身者、間借り・下宿などの単身者、会社などの独身寮の単身者）の平均世帯規模（1世帯当たりの世帯人員）に注目する。

平均世帯規模が大きい統計区をみると、豊平区の5015統計区（西岡）が3.34人で3人を超えて最も大きく、以下、東区の3016統計区（東雁来、東雁来町）が2.89人、北区の2025統計区（篠路町福移）が2.79人などと続いている。

一方、平均世帯規模が小さい統計区をみると、中央区の1005統計区（豊水地区、西創成地区）が1.24人で最も小さく、以下、南区の6024統計区（定山溪温泉東、定山溪温泉西）が1.32人、北区の2001統計区（鉄西地区、幌北地区）及び北区の2007統計区（麻生町）が1.33人などと続いている。

平均世帯規模は、都心から3km未満や地下鉄沿線では2.00人未満となっている統計区が多く、都心や地下鉄沿線から離れた統計区で規模が大きい傾向がみられる。

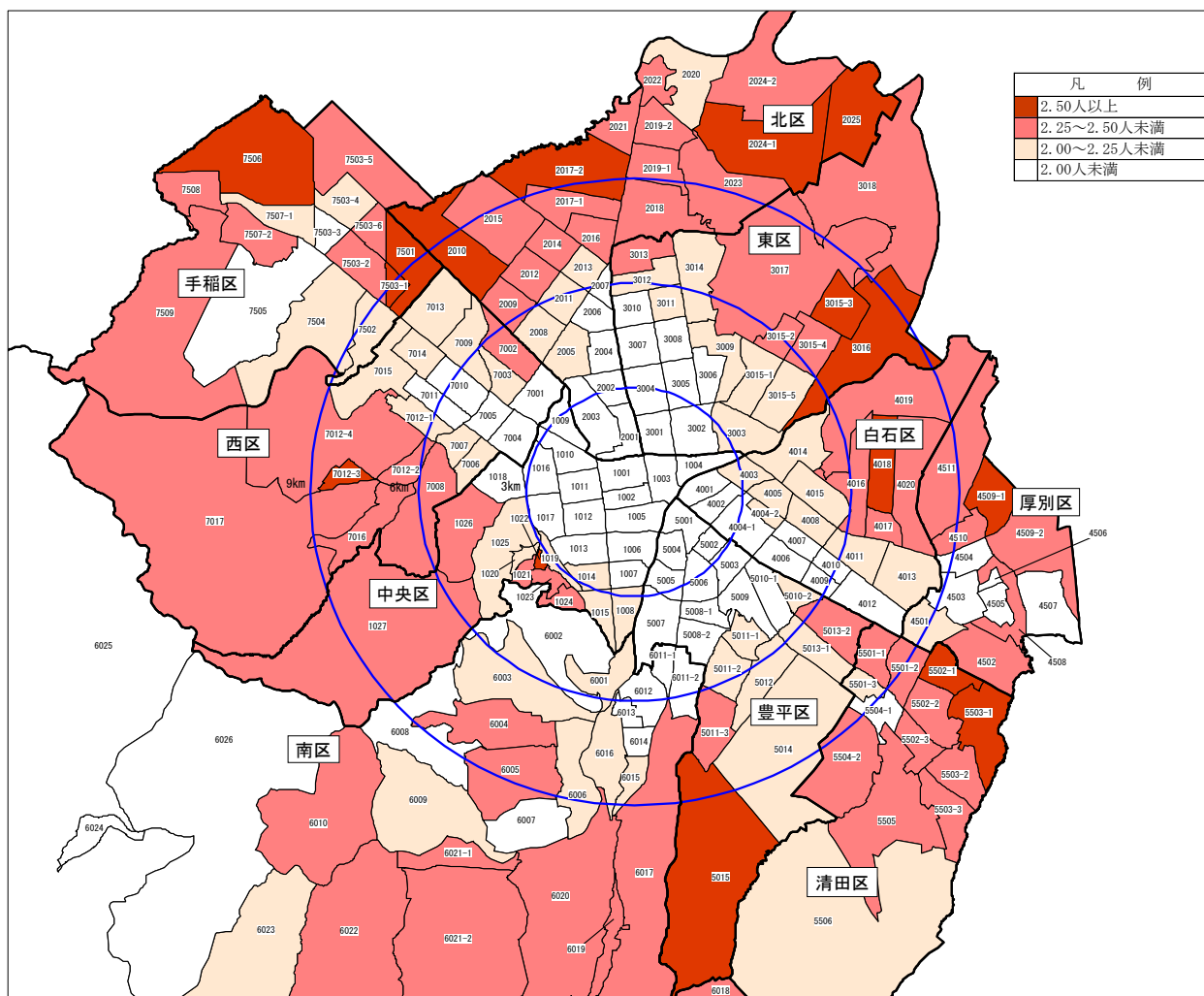
第3-2表 一般世帯における平均世帯規模の大きい統計区及び小さい統計区

人口が皆無の6002、6007及び6008統計区を除く。

(単位 人)		令和2年10月1日現在			
順位	平均世帯規模の大きい統計区		順位	平均世帯規模の小さい統計区	
	統計区番号及び主な地区・町名	平均世帯規模		統計区番号及び主な地区・町名	平均世帯規模
1	5015 豊) 西岡	3.34	1	1005 中) 豊水地区、西創成地区	1.24
2	3016 東) 東雁来、東雁来町	2.89	2	6024 南) 定山溪温泉東、定山溪温泉西	1.32
3	2025 北) 篠路町福移	2.79	3	2001 北) 鉄西地区、幌北地区	1.33
4	2017-2 北) 屯田、屯田町	2.73	3	2007 北) 麻生町	1.33
5	5503-1 清) 平岡、平岡公園、平岡公園東、里塚緑ヶ丘	2.72	5	2002 北) 幌北地区	1.34
6	4018 白) 川北	2.69	6	1002 中) 本府地区	1.35
7	2024-1 北) 拓北、南あいの里、篠路町拓北	2.60	7	1006 中) 豊水地区、曙地区	1.44
7	3015-3 東) 東苗穂、東雁来、東苗穂町	2.60	8	1012 中) 大通地区、西地区	1.45
9	2010 北) 新川、新川西	2.59	9	2004 北) 北地区	1.48
10	4509-1 厚) 厚別西、厚別北、厚別町小野幌	2.58	10	1003 中) 東北地区、東地区	1.51
11	1022 中) 旭ヶ丘	2.54	11	1001 中) 中央地区	1.52
11	7503-1 手) 新発寒	2.54	12	4001 白) 菊水	1.54
13	7012-3 西) 西野	2.52	12	5004 豊) 旭町、水車町、平岸	1.54
13	7506 手) 曙、星置、明日風、手稲山口	2.52	14	5005 豊) 中の島、平岸	1.55
15	7501 手) 新発寒	2.51	15	2006 北) 麻生地区	1.56

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

第3-2図 統計区別一般世帯における平均世帯規模（令和2年10月1日現在）



注： 第3-2表参照。
 <資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

(3) 家族類型別状況

単独世帯の割合は、都心から3km未満の統計区や地下鉄沿線の統計区で高い（第3-3表、第3-3図）

一般世帯総数に占める単独世帯の割合が高い統計区をみると、中央区の1005統計区（豊水地区、西創成地区）が82.2%で最も高く、以下、南区の6024統計区（定山溪温泉東、定山溪温泉西）が80.2%、北区の2001統計区（鉄西地区、幌北地区）が79.4%などと続いている。

一方、単独世帯の割合が低い統計区をみると、北区の2025統計区（篠路町福移）が7.1%で最も低く、以下、豊平区の5015統計区（西岡）が8.6%、清田区の5503-1統計区（平岡、平岡公園、平岡公園東、里塚緑ヶ丘）が13.6%などと続いている。

単独世帯の割合は、都心から3km未満の統計区や地下鉄沿線の統計区で高い傾向がみられる。都心から3km未満にある統計区の多くで単独世帯の割合が6割以上となっている。

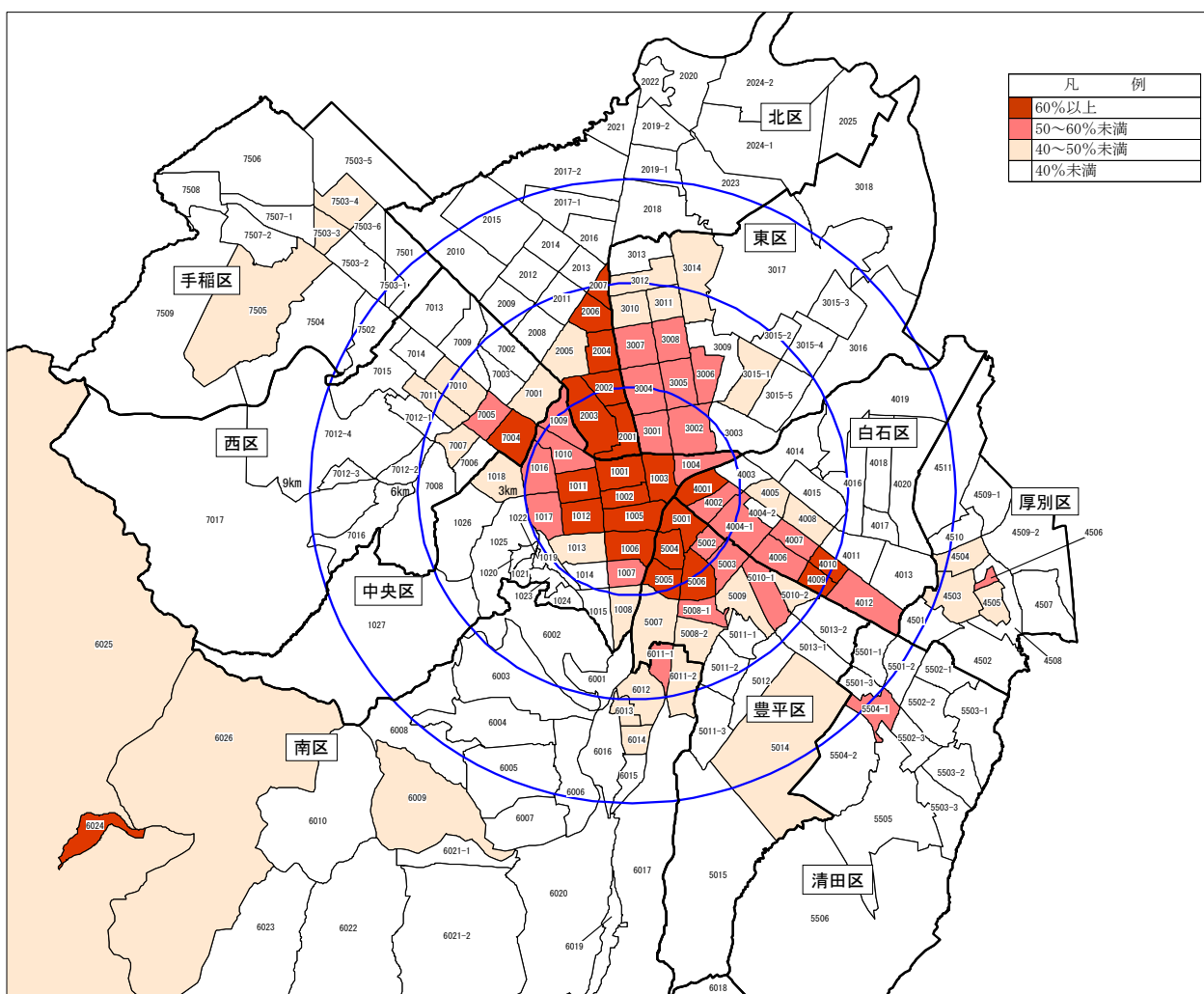
第3-3表 単独世帯割合の高い統計区及び低い統計区

一般世帯総数に占める割合であり、家族類型「不詳」を除いて算出。人口が皆無の6002、6007及び6008統計区を除く。

(単位 %)			令和2年10月1日現在		
順位	単独世帯割合の高い統計区		順位	単独世帯割合の低い統計区	
	統計区番号及び主な地区・町名	割合		統計区番号及び主な地区・町名	割合
1	1005 中) 豊水地区、西創成地区	82.2	1	2025 北) 篠路町福移	7.1
2	6024 南) 定山溪温泉東、定山溪温泉西	80.2	2	5015 豊) 西岡	8.6
3	2001 北) 鉄西地区、幌北地区	79.4	3	5503-1 清) 平岡、平岡公園、平岡公園東、里塚緑ヶ丘	13.6
4	2002 北) 幌北地区	77.8	4	5502-1 清) 平岡、平岡公園東	15.6
5	2007 北) 麻生町	76.4	5	4509-1 厚) 厚別西、厚別北、厚別町小野幌	16.0
6	1002 中) 本府地区	73.9	6	3016 東) 東雁来、東雁来町	17.1
7	1012 中) 大通地区、西地区	71.0	7	2017-2 北) 屯田、屯田町	17.5
8	1006 中) 豊水地区、曙地区	69.4	8	4511 厚) 厚別西、厚別町山本	18.4
9	2004 北) 北地区	68.7	8	7012-3 西) 西野	18.4
10	5004 豊) 旭町、水車町、平岸	66.4	10	4018 白) 川北	18.5
11	2003 北) 北海道大学構内	66.0	11	3015-3 東) 東苗穂、東雁来、東苗穂町	19.1
12	1003 中) 東北地区、東地区	65.7	12	2010 北) 新川、新川西	19.3
13	4001 白) 菊水	64.8	13	4502 厚) 厚別南、上野幌、厚別町上野幌	19.7
14	2006 北) 麻生地区	64.0	14	2024-2 北) あいの里、篠路町拓北	19.9
15	5001 豊) 豊平、旭町、水車町	63.5	15	1027 中) 盤溪	20.0

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

第3-3図 統計区別単独世帯割合（令和2年10月1日現在）



注： 第3-3表参照。

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

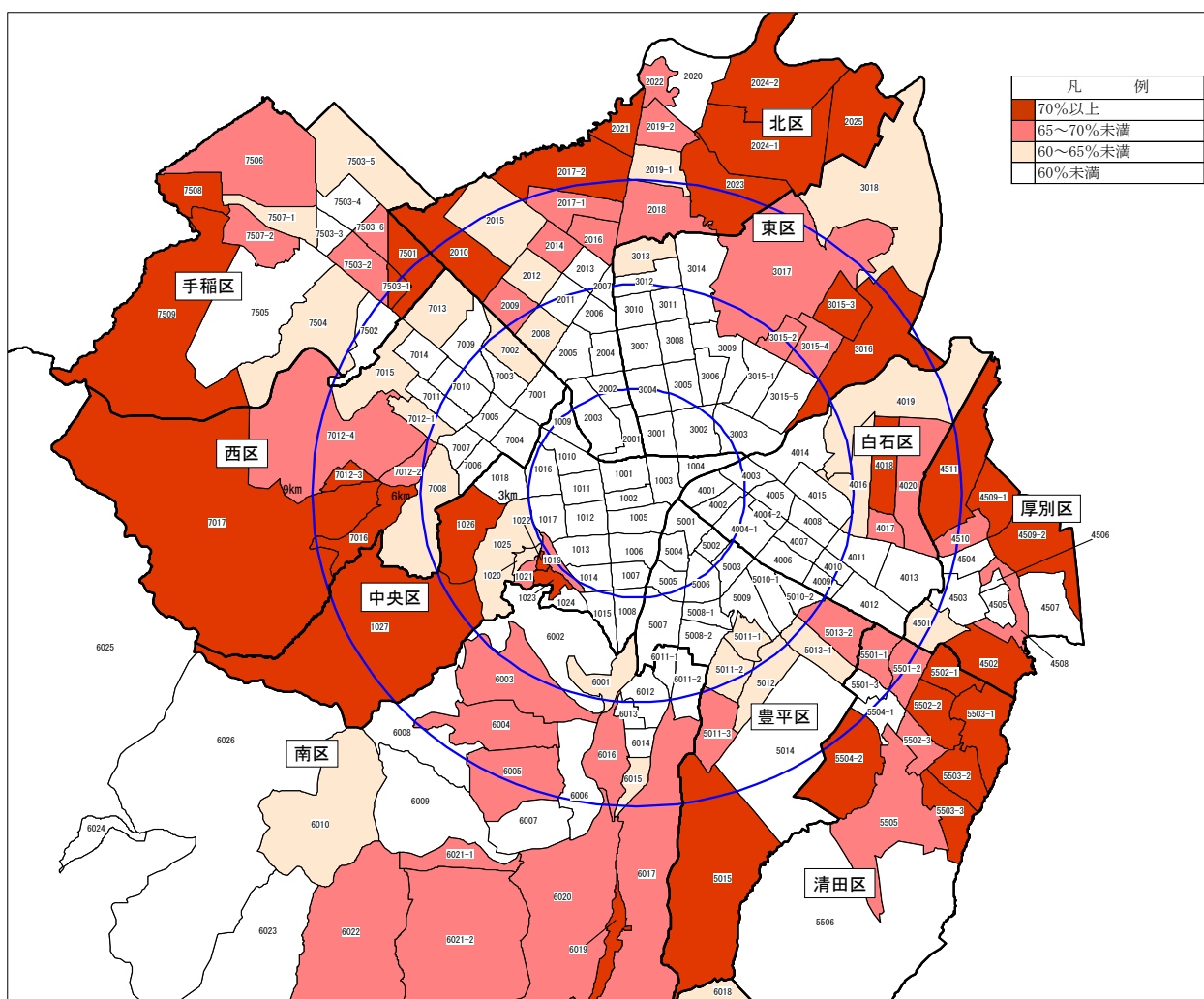
核家族世帯の割合は、都心から離れた統計区で高い傾向（第3-4表、第3-4図）

一般世帯総数に占める核家族世帯の割合が高い統計区をみると、豊平区の5015統計区（西岡）が85.5%で最も高く、以下、清田区の5503-1統計区（平岡、平岡公園、平岡公園東、里塚緑ヶ丘）が80.9%、厚別区の4509-1統計区（厚別西、厚別北、厚別町小野幌）が79.2%などと続いている。

一方、核家族世帯の割合が低い統計区をみると、中央区の1005統計区（豊水地区、西創成地区）が13.7%で最も低く、以下、北区の2001統計区（鉄西地区、幌北地区）が18.4%、南区の6024統計区（定山溪温泉東、定山溪温泉西）が18.8%などと続いている。

核家族世帯の割合は、単独世帯の割合とは反対に、都心や地下鉄沿線の統計区では低く、都心から離れた統計区で高い傾向がみられる。

第3-4図 統計区別核家族世帯割合（令和2年10月1日現在）



注： 第3-4表参照。

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

第3-4表 核家族世帯割合の高い統計区及び低い統計区

一般世帯総数に占める割合であり、家族類型「不詳」を除いて算出。人口が皆無の6002、6007及び6008統計区を除く。

(単位 %)		令和2年10月1日現在			
順位	核家族世帯割合の高い統計区		順位	核家族世帯割合の低い統計区	
	統計区番号及び主な地区・町名	割合		統計区番号及び主な地区・町名	割合
1	5015 豊) 西岡	85.5	1	1005 中) 豊水地区、西創成地区	13.7
2	5503-1 清) 平岡、平岡公園、平岡公園東、里塚緑ヶ丘	80.9	2	2001 北) 鉄西地区、幌北地区	18.4
3	4509-1 厚) 厚別西、厚別北、厚別町小野幌	79.2	3	6024 南) 定山溪温泉東、定山溪温泉西	18.8
4	3016 東) 東雁来、東雁来町	77.4	4	2002 北) 幌北地区	18.9
4	5502-1 清) 平岡、平岡公園東	77.4	5	2007 北) 麻生町	20.1
6	2017-2 北) 屯田、屯田町	76.0	6	1002 中) 本府地区	23.0
7	7012-3 西) 西野	74.9	7	1012 中) 大通地区、西地区	24.8
8	3015-3 東) 東苗穂、東雁来、東苗穂町	74.6	8	1006 中) 豊水地区、曙地区	25.2
9	4502 厚) 厚別南、上野幌、厚別町上野幌	74.5	9	2004 北) 北地区	27.1
10	4511 厚) 厚別西、厚別町山本	74.1	10	4001 白) 菊水	29.9
11	2024-2 北) あいの里、篠路町拓北	73.9	11	1003 中) 東北地区、東地区	30.5
11	4018 白) 川北	73.9	11	5004 豊) 旭町、水車町、平岸	30.5
13	1022 中) 旭ヶ丘	73.8	13	2006 北) 麻生地区	31.6
14	2010 北) 新川、新川西	72.9	14	5001 豊) 豊平、旭町、水車町	32.0
15	4509-2 厚) 厚別東、厚別町下野幌、下野幌テックパーク、厚別町小野幌	72.3	15	2003 北) 北海道大学構内	32.5
15	7501 手) 新発寒	72.3			

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

第3-5表 6歳未満の子供がいる一般世帯割合の高い統計区及び低い統計区

一般世帯総数に占める割合であり、家族類型「不詳」を除いて算出。人口が皆無の6002、6007及び6008統計区を除く。

(単位 %)		令和2年10月1日現在			
順位	6歳未満の子供がいる一般世帯割合の高い統計区		順位	6歳未満の子供がいる一般世帯割合の低い統計区	
	統計区番号及び主な地区・町名	割合		統計区番号及び主な地区・町名	割合
1	3016 東) 東雁来、東雁来町	25.3	1	2020 北) 篠路町篠路	—
2	1027 中) 盤溪	16.0	1	2025 北) 篠路町福移	—
3	2017-2 北) 屯田、屯田町	12.7	1	6026 南) 小金湯	—
4	5503-1 清) 平岡、平岡公園、平岡公園東、里塚緑ヶ丘	12.6	4	4506 厚) 厚別中央	0.6
5	2022 北) 東茨戸	12.0	5	6024 南) 定山溪温泉東、定山溪温泉西	1.7
6	2024-1 北) 拓北、南あいの里、篠路町拓北	11.8	6	1005 中) 豊水地区、西創成地区	2.1
7	7506 手) 曙、星置、明日風、手稲山口	11.6	6	2007 北) 麻生町	2.1
8	2003 北) 北海道大学構内	11.0	8	2001 北) 鉄西地区、幌北地区	2.5
9	2016 北) 屯田	10.9	9	1002 中) 本府地区	2.7
10	2010 北) 新川、新川西	10.2	10	2002 北) 幌北地区	2.9
11	5506 清) 有明	10.0	10	6010 南) 砥山	2.9
12	4019 白) 北郷、米里、東米里	9.9	12	4507 厚) もみじ台東・西・南・北	3.2
12	7503-1 手) 新発寒	9.9	13	1006 中) 豊水地区、曙地区	3.6
14	2018 北) 太平、篠路町太平、百合が原、百合が原公園	9.8	13	2004 北) 北地区	3.6
14	6001 南) 藻岩下	9.8	15	1001 中) 中央地区	3.7

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

東区の3016統計区(東雁来、東雁来町)では、4世帯に1世帯以上が6歳未満の子供がいる一般世帯(第3-5表、第3-5図)

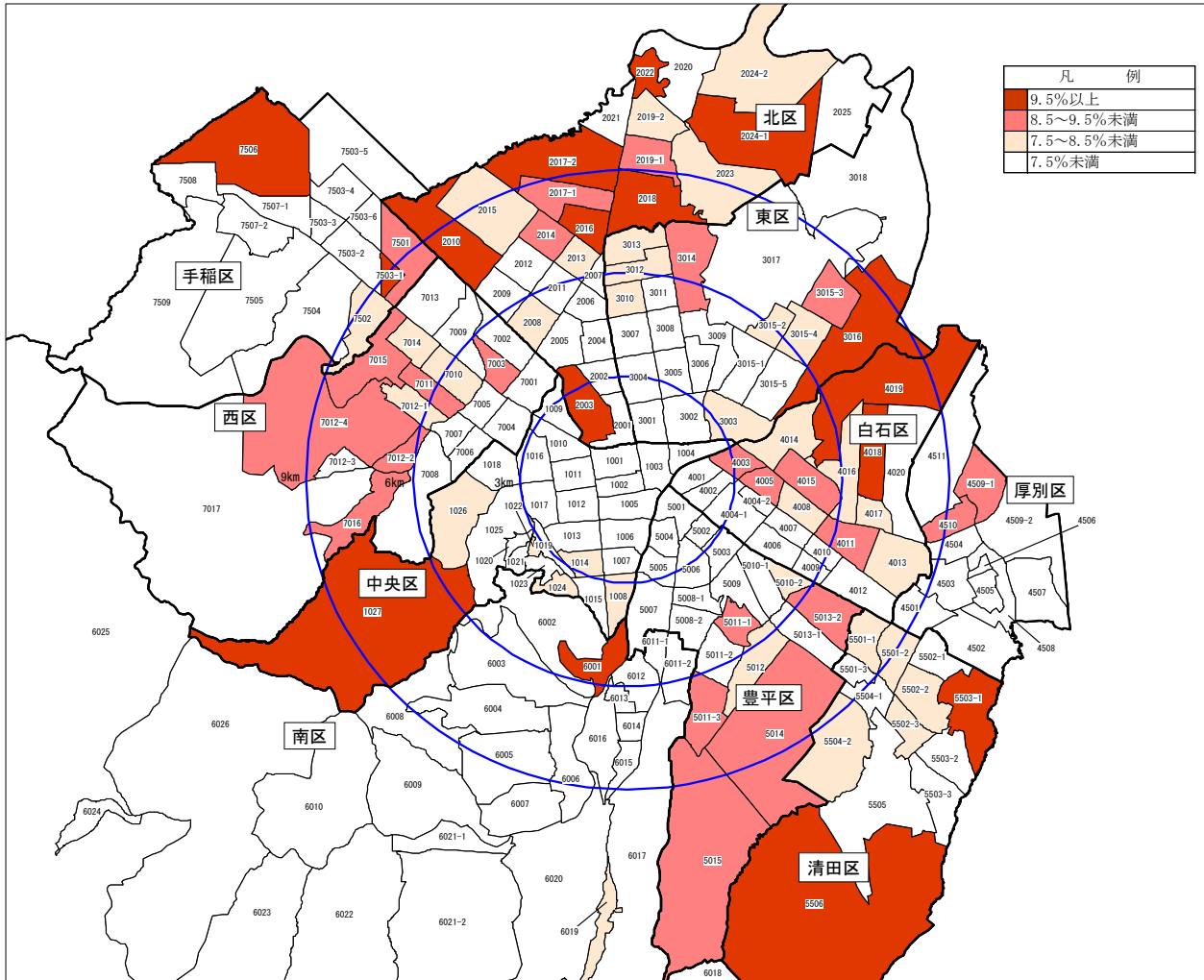
一般世帯総数に占める6歳未満の子供がいる一般世帯の割合が高い統計区をみると、東区の3016統計区(東雁来、東雁来町)が25.3%で4分の1を超えて最も高く、以下、中央区の1027統計区(盤溪)が16.0%、北区の2017-2統計区(屯田、屯田町)が12.7%などと続いている。

一方、6歳未満の子供がいる一般世帯の割合が低い統計区をみると、北区の2020統計区(篠路町篠路)、

北区の2025統計区（篠路町福移）及び南区の6026統計区（小金湯）がいずれも皆無となっている。

6歳未満の子供がいる一般世帯の割合は、東区の3016統計区（東雁来、東雁来町）や北区の2017-2統計区（屯田、屯田町）など都心から離れた新興住宅地を含む統計区などで高くなっている。

第3-5図 統計区別6歳未満の子供がいる一般世帯割合（令和2年10月1日現在）



注： 第3-5表参照。

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

2 65歳以上世帯員のいる世帯

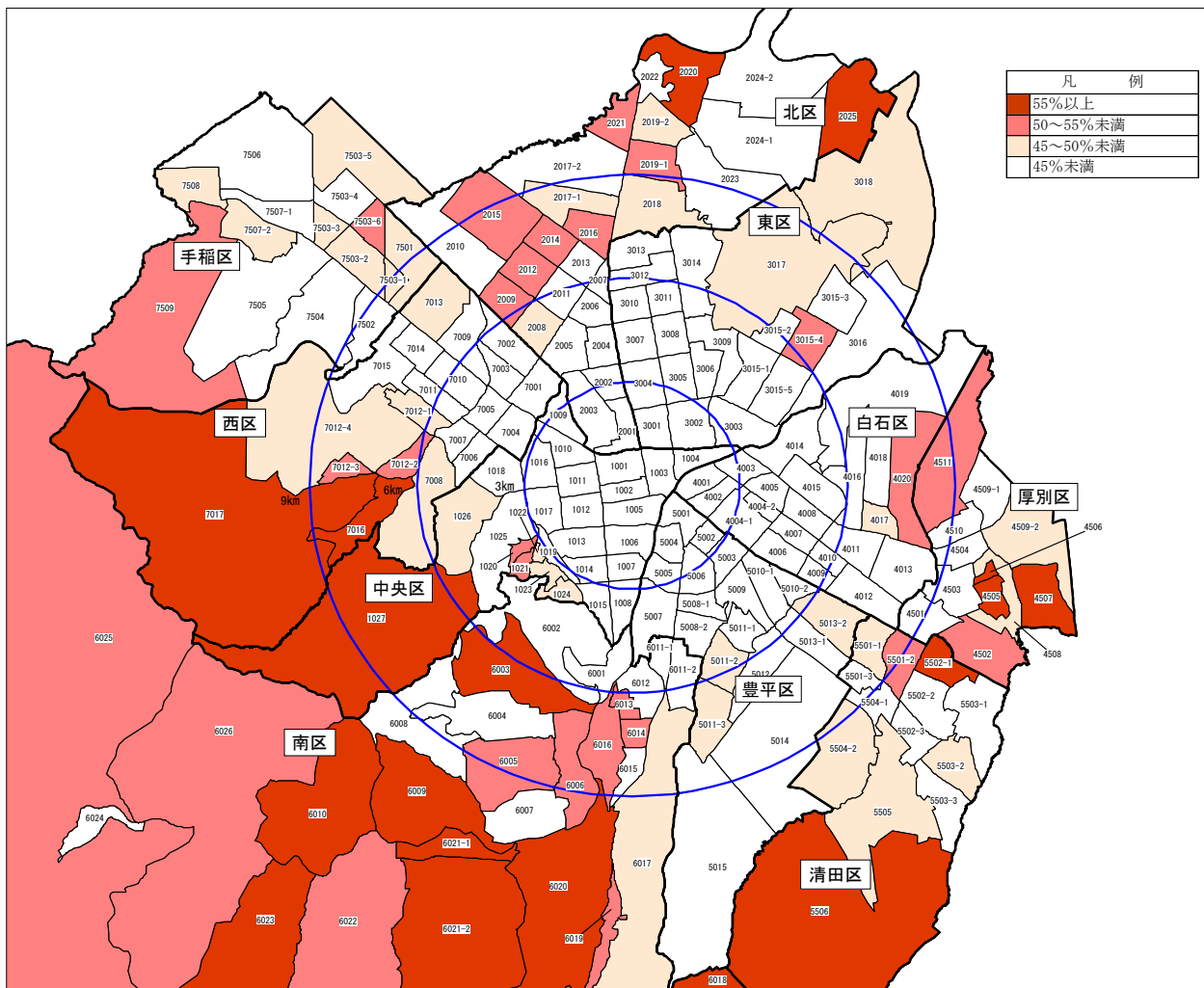
65歳以上世帯員のいる一般世帯の割合は、南区の統計区の多くで5割を超える（第3-6表、第3-6図）

令和2年10月1日現在の一般世帯総数に占める、65歳以上世帯員のいる一般世帯の割合が高い統計区をみると、南区の6018統計区（滝野）が80.8%で最も高く、次いで、南区の6010統計区（砥山）が80.0%となっており、この2つの統計区では8割以上となっている。以下、厚別区の4506統計区（厚別中央）が75.8%などと続いている。

一方、65歳以上世帯員のいる一般世帯の割合が低い統計区をみると、豊平区の5014統計区（羊ヶ丘）が8.6%で1割を下回り最も低く、以下、北区の2003統計区（北海道大学構内）が10.1%、北区の2001統計区（鉄西地区、幌北地区）が13.0%などと続いている。

65歳以上世帯員のいる一般世帯の割合は、南区の統計区の多くで5割以上となっている。

第3-6図 統計区別65歳以上世帯員のいる一般世帯割合（令和2年10月1日現在）



注： 第3-6表参照。

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

第3-6表 65歳以上世帯員のいる一般世帯割合の高い統計区及び低い統計区

一般世帯総数に占める割合である。人口が皆無の6002、6007及び6008統計区を除く。

(単位 %) 令和2年10月1日現在

65歳以上世帯員のいる一般世帯割合の高い統計区			65歳以上世帯員のいる一般世帯割合の低い統計区		
順位	統計区番号及び主な地区・町名	割合	順位	統計区番号及び主な地区・町名	割合
1	6018 南) 滝野	80.8	1	5014 豊) 羊ヶ丘	8.6
2	6010 南) 砥山	80.0	2	2003 北) 北海道大学構内	10.1
3	4506 厚) 厚別中央	75.8	3	2001 北) 鉄西地区、幌北地区	13.0
4	2025 北) 篠路町福移	71.4	4	1005 中) 豊水地区、西創成地区	13.4
5	6009 南) 白川	69.0	5	2002 北) 幌北地区	15.0
6	6023 南) 豊滝	67.6	6	1003 中) 東北地区、東地区	17.1
7	4507 厚) もみじ台東・西・南・北	67.1	6	5015 豊) 西岡	17.1
8	2020 北) 篠路町篠路	66.2	8	1012 中) 大通地区、西地区	20.2
9	5506 清) 有明	65.0	9	1002 中) 本府地区	20.3
10	4505 厚) 青葉町	62.6	10	2007 北) 麻生町	21.1
11	1027 中) 盤溪	62.0	11	4001 白) 菊水	21.8
12	6021-1 南) 藤野	58.1	12	5004 豊) 旭町、水車町、平岸	22.4
13	6003 南) 北ノ沢、川沿	57.2	13	5006 豊) 豊平、美園、平岸	22.5
14	6020 南) 真駒内南町、石山、石山東、 芸術の森	56.9	14	5001 豊) 豊平、旭町、水車町	22.6
15	5502-1 清) 平岡、平岡公園東	56.4	15	5003 豊) 美園	23.2
15	7017 西) 平和	56.4			

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

第3-7表 65歳以上世帯員の単独世帯割合の高い統計区及び低い統計区

一般世帯総数に占める割合である。人口が皆無の6002、6007及び6008統計区を除く。

(単位 %) 令和2年10月1日現在

65歳以上世帯員の単独世帯割合の高い統計区			65歳以上世帯員の単独世帯割合の低い統計区		
順位	統計区番号及び主な地区・町名	割合	順位	統計区番号及び主な地区・町名	割合
1	4506 厚) 厚別中央	39.4	1	2025 北) 篠路町福移	—
2	6009 南) 白川	31.0	2	5014 豊) 羊ヶ丘	2.9
3	4507 厚) もみじ台東・西・南・北	30.1	3	2003 北) 北海道大学構内	3.3
4	4505 厚) 青葉町	28.7	3	5015 豊) 西岡	3.3
5	6013 南) 真駒内本町・曙町	28.6	5	5503-1 清) 平岡、平岡公園、平岡公園東、 里塚緑ヶ丘	6.0
6	5506 清) 有明	26.7	6	2001 北) 鉄西地区、幌北地区	6.2
7	6014 南) 真駒内上町・緑町	25.0	6	2017-2 北) 屯田、屯田町	6.2
8	2020 北) 篠路町篠路	24.7	8	3016 東) 東雁来、東雁来町	7.1
9	6023 南) 豊滝	23.9	9	1003 中) 東北地区、東地区	7.5
10	6012 南) 真駒内本町、真駒内自衛隊敷地	21.9	10	2010 北) 新川、新川西	8.0
11	6025 南) 定山溪	21.4	11	1005 中) 豊水地区、西創成地区	8.3
12	6003 南) 北ノ沢、川沿	17.8	12	2002 北) 幌北地区	8.6
13	1024 中) 伏見	17.4	13	4511 厚) 厚別西、厚別町山本	8.7
13	6006 南) 川沿、川沿町	17.4	14	1004 中) 苗穂地区	8.9
13	6026 南) 小金湯	17.4	14	3015-3 東) 東苗穂、東雁来、東苗穂町	8.9

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

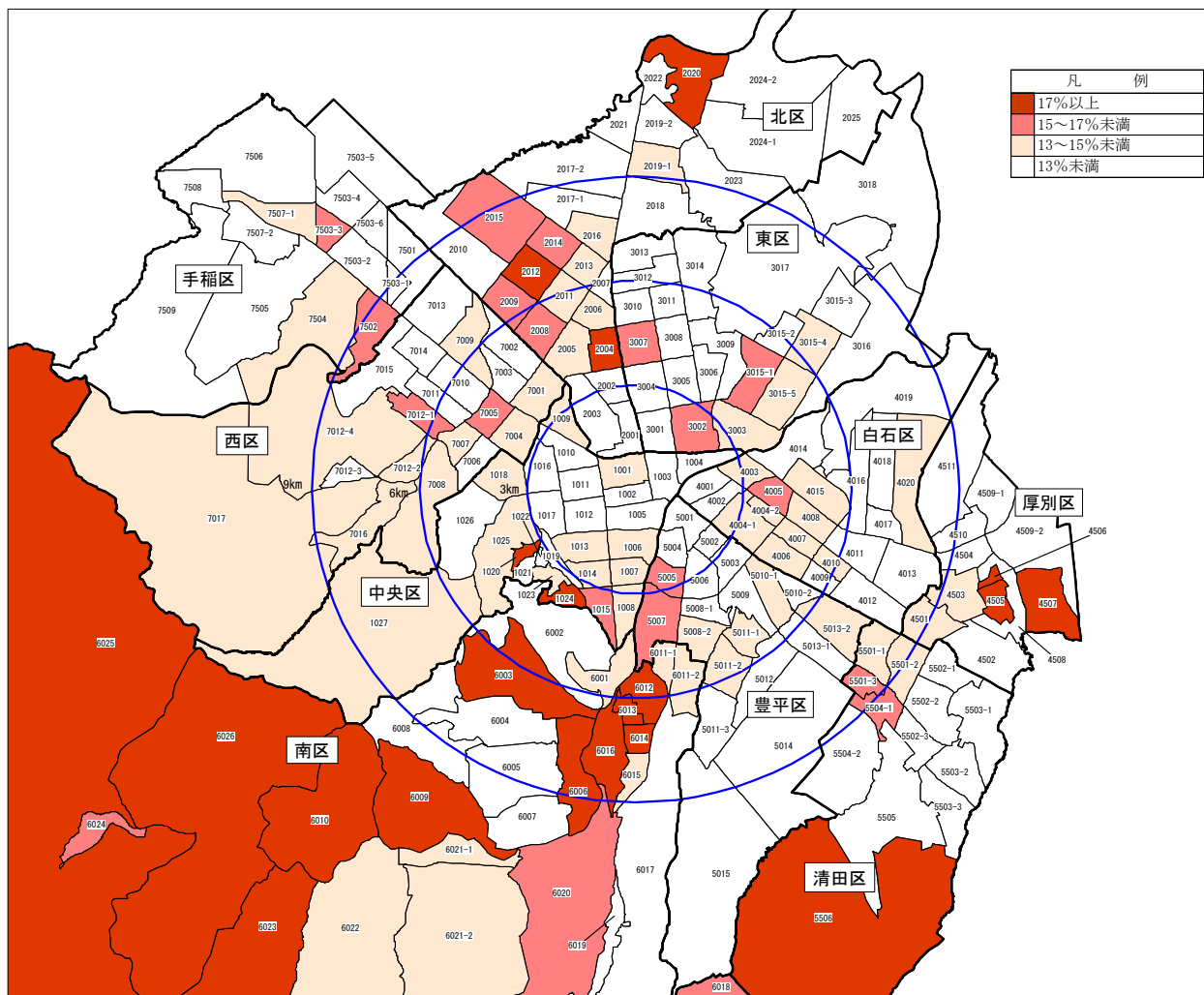
65歳以上世帯員の単独世帯の割合は、厚別区の4506統計区(厚別中央)で約4割を占める(第3-7表、第3-7図)

次に、平成27年以前の国勢調査において「高齢単身世帯」と定義されていた「65歳以上世帯員の単独世帯」に注目する。

一般世帯総数に占める65歳以上世帯員の単独世帯の割合が高い統計区をみると、厚別区の4506統計区(厚別中央)が39.4%で約4割と最も高く、以下、南区の6009統計区(白川)が31.0%、厚別区の4507統計区(もみじ台東・西・南・北)が30.1%などと続いている。

一方、65歳以上世帯員の単独世帯の割合が低い統計区をみると、北区の2025統計区(篠路町福移)

第3-7図 統計区別65歳以上世帯員の単独世帯割合（令和2年10月1日現在）



注： 第3-7表参照。

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

が皆無となっている。以下、豊平区の5014統計区（羊ヶ丘）が2.9%、北区の2003統計区（北海道大学構内）及び豊平区の5015統計区（西岡）が3.3%などと続いている。

65歳以上世帯員の単独世帯の割合が高い上位の統計区は、厚別区の4506統計区（厚別中央）や4507統計区（もみじ台東・西・南・北）などの厚別区の統計区や、南区の統計区が占めている。

夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯の割合は、南区の6018統計区（滝野）で3分の1を超えて最も高い（第3-8表、第3-8図）

続いて、平成27年以前の国勢調査において「高齢夫婦世帯」と定義されていた「夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯」に注目する。

一般世帯総数に占める夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯の割合が高い統計区をみると、南区の6018統計区（滝野）が34.6%で3分の1を超えて最も高く、以下、北区の2025統計区（篠路町福移）が28.6%、中央区の1027統計区（盤渓）及び清田区の5502-1統計区（平岡、平岡公園東）が26.0%などと続いている。

一方、夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯の割合が低い統計区をみると、中央区の1005統計区（豊水地区、西創成地区）が2.1%で最も低く、以下、豊平区の5015統計区（西岡）が2.6%、豊平区の5014統計区（羊ヶ丘）が2.9%などと続いている。

第3-8表 夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯割合の高い統計区及び低い統計区

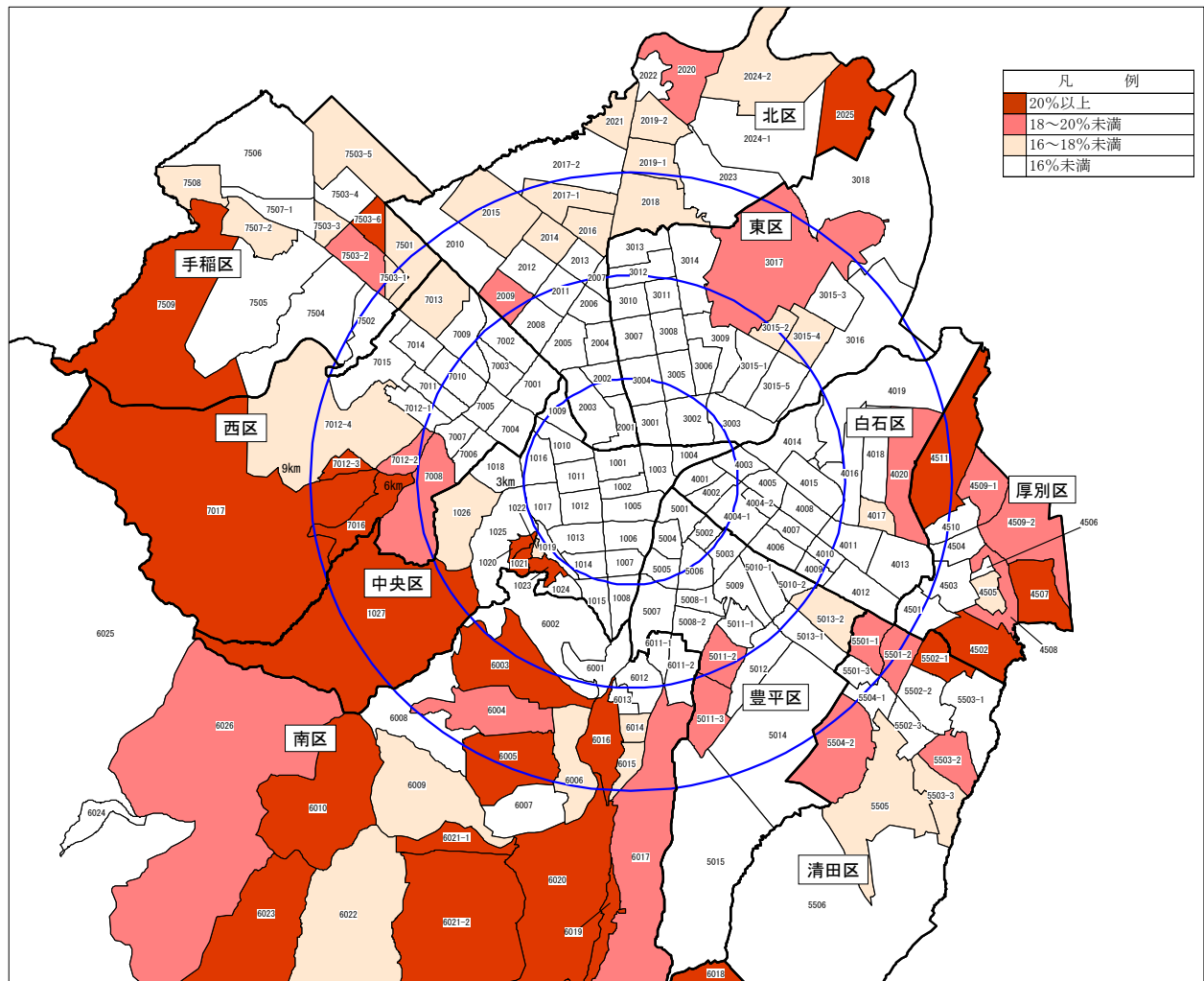
一般世帯総数に占める割合である。人口が皆無の6002、6007及び6008統計区を除く。

(単位 %) 令和2年10月1日現在

順位	夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯割合の高い統計区		順位	夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯割合の低い統計区	
	統計区番号及び主な地区・町名	割合		統計区番号及び主な地区・町名	割合
1	6018 南) 滝野	34.6	1	1005 中) 豊水地区、西創成地区	2.1
2	2025 北) 篠路町福移	28.6	2	5015 豊) 西岡	2.6
3	1027 中) 盤溪	26.0	3	5014 豊) 羊ヶ丘	2.9
3	5502-1 清) 平岡、平岡公園東	26.0	4	2002 北) 幌北地区	3.0
5	6010 南) 砥山	25.7	5	2003 北) 北海道大学構内	3.6
6	6023 南) 豊滝	23.9	6	2001 北) 鉄西地区、幌北地区	3.8
7	4502 厚) 厚別南、上野幌、厚別町上野幌	22.7	7	2007 北) 麻生町	3.9
8	6021-1 南) 藤野	22.2	8	4001 白) 菊水	4.5
9	7017 西) 平和	22.1	9	1012 中) 大通地区、西地区	4.7
10	1020 中) 双子山	22.0	10	1003 中) 東北地区、東地区	5.2
11	4511 厚) 厚別西、厚別町山本	21.7	11	4009 白) 栄通、南郷通	5.3
11	6020 南) 真駒内南町、石山、石山東、芸術の森	21.7	11	5006 豊) 豊平、美園、平岸	5.3
13	1021 中) 界川	21.5	13	5004 豊) 旭町、水車町、平岸	5.4
13	7012-3 西) 西野	21.5	13	6024 南) 定山溪温泉東、定山溪温泉西	5.4
13	7016 西) 福井	21.5	15	1006 中) 豊水地区、曙地区	5.5

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

第3-8図 統計区別夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯割合 (令和2年10月1日現在)



注： 第3-8表参照。

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

3 住宅の所有の関係

(1) 持ち家

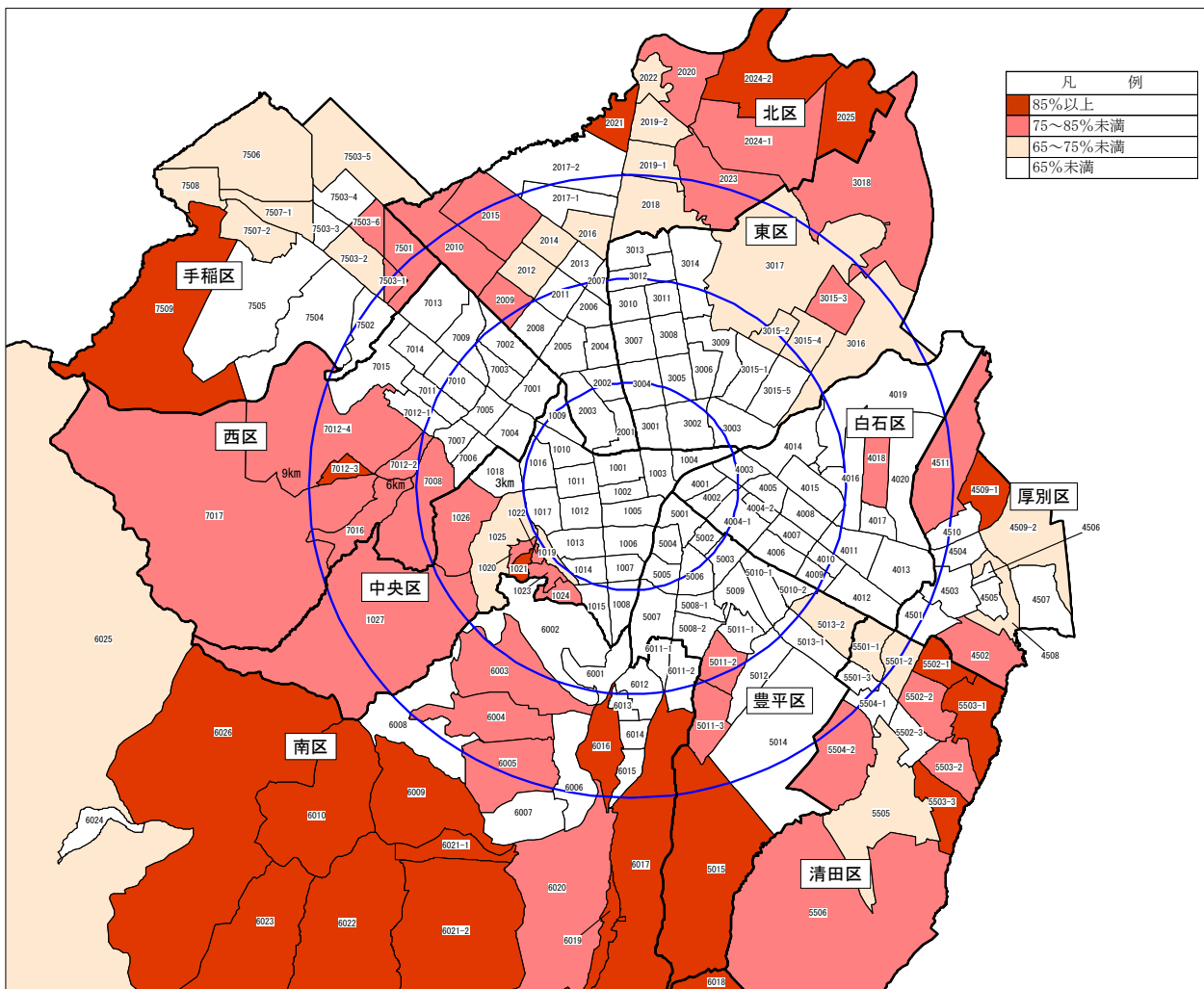
持ち家に住む世帯の割合は、都心や地下鉄沿線から離れた統計区で高い傾向（第3-9表、第3-9図）

令和2年10月1日現在の住宅に住む一般世帯総数に占める持ち家に住む世帯の割合が高い統計区をみると、北区の2025統計区（篠路町福移）、南区の6009統計区（白川）及び南区の6018統計区（滝野）がいずれも100.0%となっており、住宅に住む一般世帯の全てが持ち家に住んでいる。

一方、持ち家に住む世帯の割合が低い統計区をみると、豊平区の5014統計区（羊ヶ丘）が皆無で最も低く、以下、厚別区の4506統計区（厚別中央）が11.0%、中央区の1005統計区（豊水地区、西創成地区）が11.9%などと続いている。

持ち家に住む世帯の割合は、都心や地下鉄沿線から離れた統計区で高い傾向がみられる。

第3-9図 統計区別持ち家に住む世帯割合（令和2年10月1日現在）



注： 第3-9表参照。

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

第3-9表 持ち家に住む世帯割合の高い統計区及び低い統計区

住宅に住む一般世帯総数に占める割合である。人口が皆無の6002、6007及び6008統計区を除く。

(単位 %)			令和2年10月1日現在		
順位	持ち家に住む世帯割合の高い統計区		順位	持ち家に住む世帯割合の低い統計区	
	統計区番号及び主な地区・町名	割合		統計区番号及び主な地区・町名	割合
1	2025 北) 篠路町福移	100.0	1	5014 豊) 羊ヶ丘	—
1	6009 南) 白川	100.0	2	4506 厚) 厚別中央	11.0
1	6018 南) 滝野	100.0	3	1005 中) 豊水地区、西創成地区	11.9
4	5015 豊) 西岡	96.0	4	2007 北) 麻生町	13.5
5	6026 南) 小金湯	95.2	5	2002 北) 幌北地区	14.7
6	6023 南) 豊滝	92.6	6	4009 白) 栄通、南郷通	17.6
7	2021 北) 西茨戸	92.3	7	4010 白) 本郷通、本通南	20.6
8	6022 南) 簾舞	91.4	8	1012 中) 大通地区、西地区	20.9
9	4509-1 厚) 厚別西、厚別北、厚別町小野幌	91.3	9	3006 東) 元町地区	22.7
10	5503-1 清) 平岡、平岡公園、平岡公園東、里塚緑ヶ丘	90.9	9	4001 白) 菊水	22.7
11	5502-1 清) 平岡、平岡公園東	89.5	11	2001 北) 鉄西地区、幌北地区	23.5
12	7012-3 西) 西野	88.8	12	2004 北) 北地区	23.7
13	7509 手) 金山、手稻金山	88.6	12	3005 東) 北光地区、北栄地区	23.7
14	2024-2 北) あいの里、篠路町拓北	88.5	14	1006 中) 豊水地区、曙地区	24.0
15	1021 中) 界川	88.3	15	6024 南) 定山溪温泉東、定山溪温泉西	24.2

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

第3-10表 民営の借家に住む世帯割合の高い統計区及び低い統計区

住宅に住む一般世帯総数に占める割合である。人口が皆無の6002、6007及び6008統計区を除く。

(単位 %)			令和2年10月1日現在		
順位	民営の借家に住む世帯割合の高い統計区		順位	民営の借家に住む世帯割合の低い統計区	
	統計区番号及び主な地区・町名	割合		統計区番号及び主な地区・町名	割合
1	1005 中) 豊水地区、西創成地区	83.0	1	2025 北) 篠路町福移	—
2	2002 北) 幌北地区	81.3	1	6009 南) 白川	—
3	2007 北) 麻生町	79.2	1	6018 南) 滝野	—
4	4009 白) 栄通、南郷通	79.1	4	5506 清) 有明	1.7
5	1012 中) 大通地区、西地区	74.2	5	4506 厚) 厚別中央	2.0
6	4001 白) 菊水	72.7	6	4507 厚) もみじ台東・西・南・北	2.4
7	2001 北) 鉄西地区、幌北地区	72.5	6	6026 南) 小金湯	2.4
8	1006 中) 豊水地区、曙地区	72.3	8	5015 豊) 西岡	2.6
9	4010 白) 本郷通、本通南	71.8	9	6010 南) 砥山	2.9
10	5006 豊) 豊平、美園、平岸	70.6	10	2020 北) 篠路町篠路	3.9
11	3006 東) 元町地区	69.9	11	2021 北) 西茨戸	5.6
12	3005 東) 北光地区、北栄地区	69.3	12	6023 南) 豊滝	5.8
13	5003 豊) 美園	69.0	13	6022 南) 簾舞	6.7
14	2006 北) 麻生地区	68.1	14	6015 南) 真駒内幸町・泉町・南町	7.0
15	2004 北) 北地区	66.6	14	7509 手) 金山、手稻金山	7.0

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

(2) 民営の借家

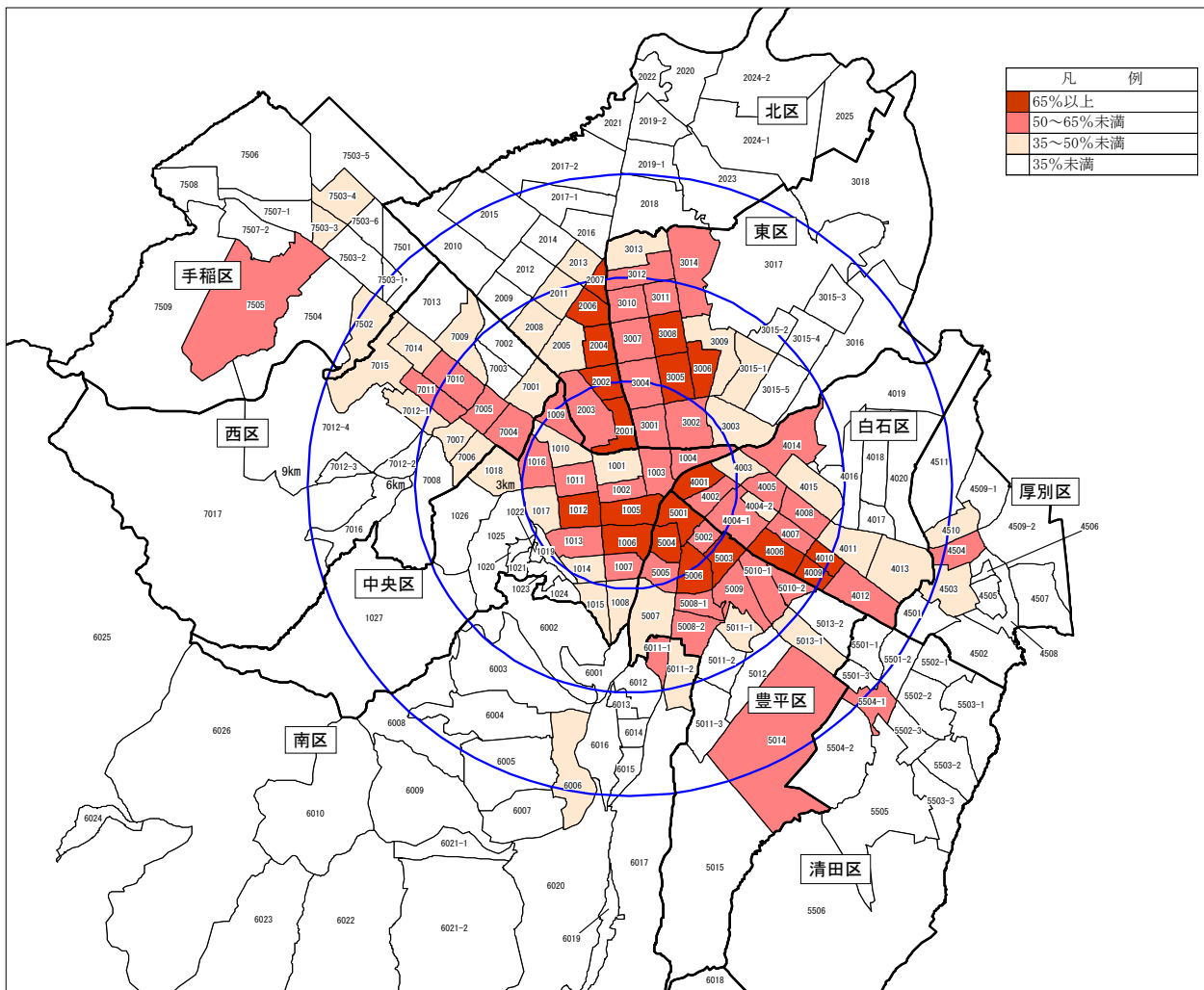
民営の借家に住む世帯の割合は、都心や地下鉄沿線などの統計区で高い(第3-10表、第3-10図)

住宅に住む一般世帯総数に占める民営の借家に住む世帯の割合が高い統計区をみると、中央区の1005統計区(豊水地区、西創成地区)が83.0%で最も高く、次いで、北区の2002統計区(幌北地区)が81.3%となっており、この2つの統計区では8割を超えている。以下、北区の2007統計区(麻生町)が79.2%などと続いている。

一方、民営の借家に住む世帯の割合が低い統計区をみると、北区の2025統計区(篠路町福移)、南区の6009統計区(白川)及び南区の6018統計区(滝野)がいずれも皆無となっている。

民営の借家に住む世帯の割合は、都心や地下鉄沿線などの統計区で高い傾向がみられる。

第3-10図 統計区別民営の借家に住む世帯割合（令和2年10月1日現在）



注： 第3-10表参照。
 <資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

(3) 持ち家に住む 65 歳以上世帯員の単独世帯及び、夫 65 歳以上、妻 60 歳以上の夫婦のみの世帯

持ち家に住む 65 歳以上世帯員の単独世帯の割合は、南区の統計区の多くで 1 割を超える（第 3-11 表、第 3-11 図）

住宅に住む一般世帯総数に占める持ち家に住む 65 歳以上世帯員の単独世帯の割合が高い統計区をみると、南区の 6009 統計区（白川）が 31.0% で 3 割を超えて最も高く、以下、北区の 2020 統計区（篠路町篠路）が 25.0%、南区の 6023 統計区（豊滝）が 22.9% などと続いている。

持ち家に住む 65 歳以上世帯員の単独

第3-11表 持ち家に住む65歳以上世帯員の単独世帯割合の高い統計区

住宅に住む一般世帯総数に占める割合である。人口が皆無の6002、6007及び6008統計区を除く。

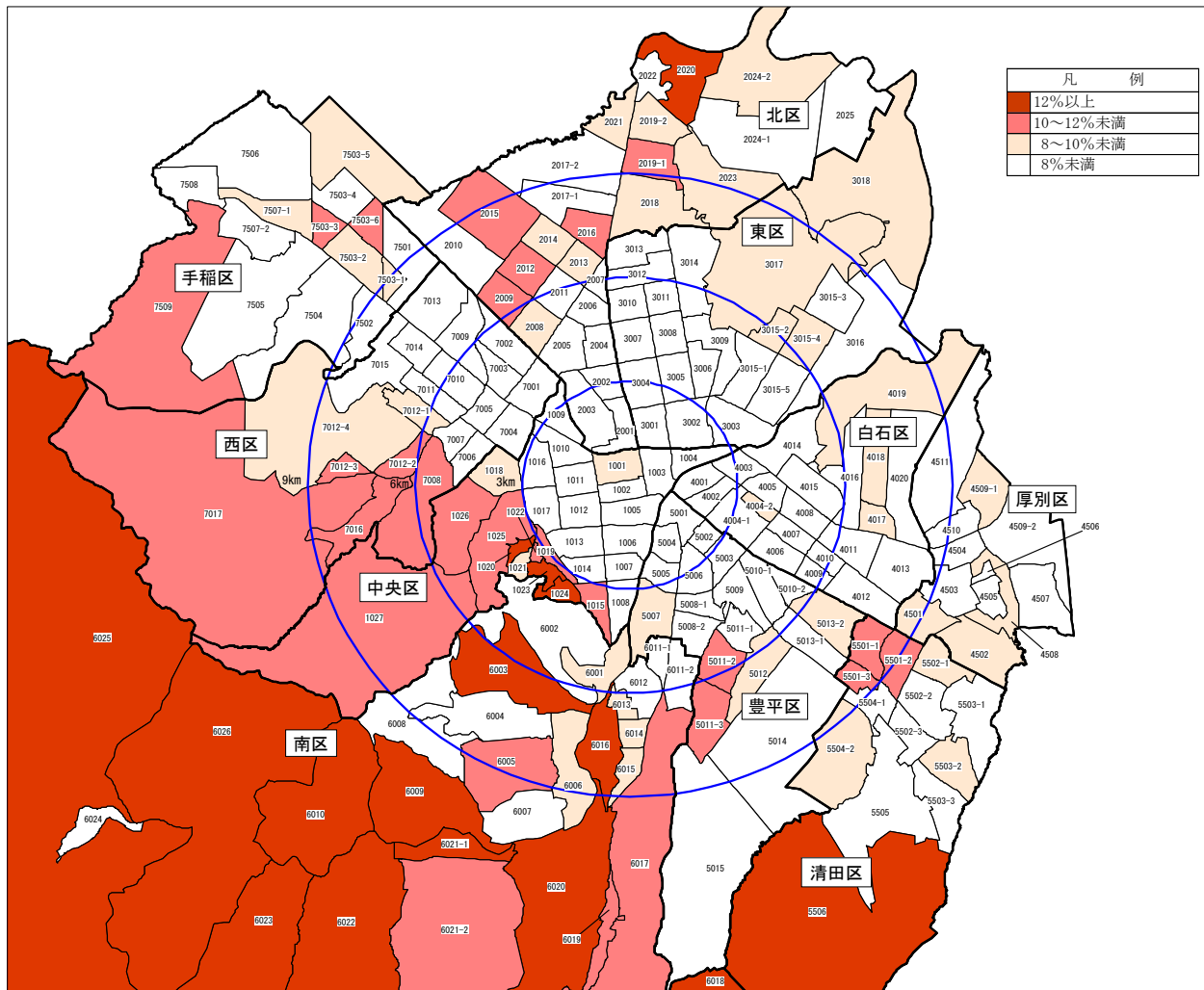
（単位 %）

令和2年10月1日現在

順位	統計区番号及び主な地区・町名	持ち家に住む65歳以上世帯員の単独世帯割合
1	6009 南) 白川	31.0
2	2020 北) 篠路町篠路	25.0
3	6023 南) 豊滝	22.9
4	5506 清) 有明	20.3
5	6026 南) 小金湯	19.0
6	6025 南) 定山溪	18.9
7	1024 中) 伏見	16.0
8	1020 中) 双子山	15.4
8	6018 南) 滝野	15.4
10	6016 南) 真駒内柏丘・緑町、真駒内公園	14.8
11	6010 南) 砥山	14.3
12	6003 南) 北ノ沢、川沿	13.9
13	6022 南) 簾舞	13.3
14	6021-1 南) 藤野	13.0
15	1023 中) 旭ヶ丘、伏見	12.9

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

第3-11図 統計区別持ち家に住む65歳以上世帯員の単独世帯割合（令和2年10月1日現在）



注： 第3-11表参照。

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

世帯の割合が高い上位の統計区には、南区の統計区が多くなっている。南区では多くの統計区で1割を超えている。

第3-12表 持ち家に住む夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯割合の高い統計区

住宅に住む一般世帯総数に占める割合である。人口が皆無の6002、6007及び6008統計区を除く。

(単位 %)

令和2年10月1日現在

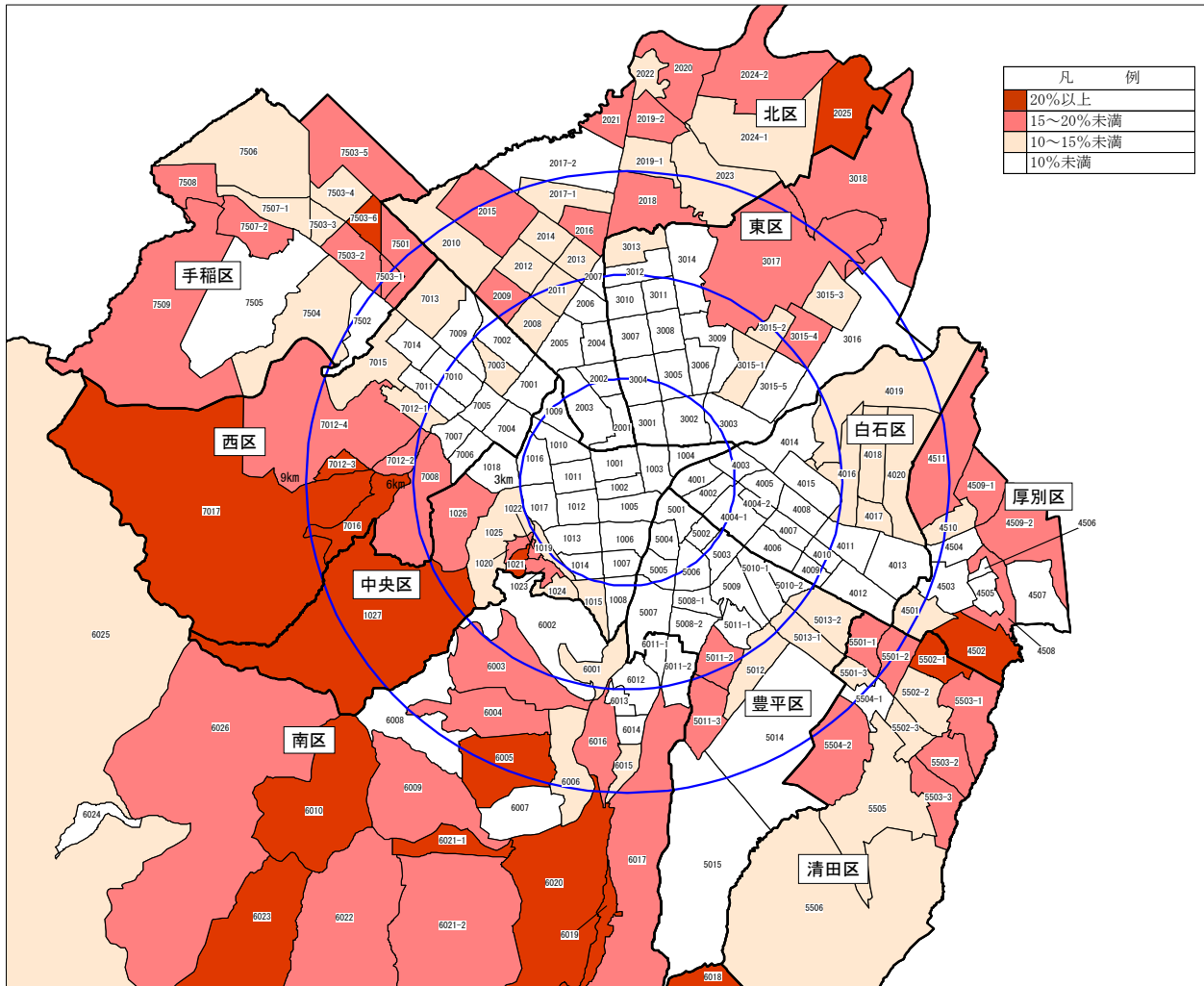
持ち家に住む夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯の割合は、南区の6018統計区（滝野）で3分の1を超える（第3-12表、第3-12図）

住宅に住む一般世帯総数に占める持ち家に住む夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯の割合が高い統計区を見ると、南区の6018統計区（滝野）が34.6%で3分の1以上を占めて最も高くなっている。以下、北区の2025統計区（篠路町福移）が28.6%、清田区の5502-1統計区（平岡、平岡公園東）

順位	統計区番号及び主な地区・町名	持ち家に住む夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯割合
1	6018 南) 滝野	34.6
2	2025 北) 篠路町福移	28.6
3	5502-1 清) 平岡、平岡公園東	25.4
4	6023 南) 豊滝	23.3
5	6010 南) 砥山	22.9
6	1027 中) 盤溪	22.4
7	6021-1 南) 藤野	21.6
8	1021 中) 界川	21.2
9	7017 西) 平和	20.7
10	6019 南) 常盤	20.6
11	4502 厚) 厚別南、上野幌、厚別町上野幌	20.4
12	6020 南) 真駒内南町、石山、石山東、芸術の森	20.3
12	7016 西) 福井	20.3
14	6005 南) 南沢	20.2
15	7503-6 手) 前田	20.1

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

第3-12図 統計区別持ち家に住む夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯割合
(令和2年10月1日現在)



注： 第3-12表参照。

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

が25.4%などと続いている。

持ち家に住む夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯の割合は、都心部では低く、都心から離れた統計区で高い傾向がみられる。

4 住宅の建て方

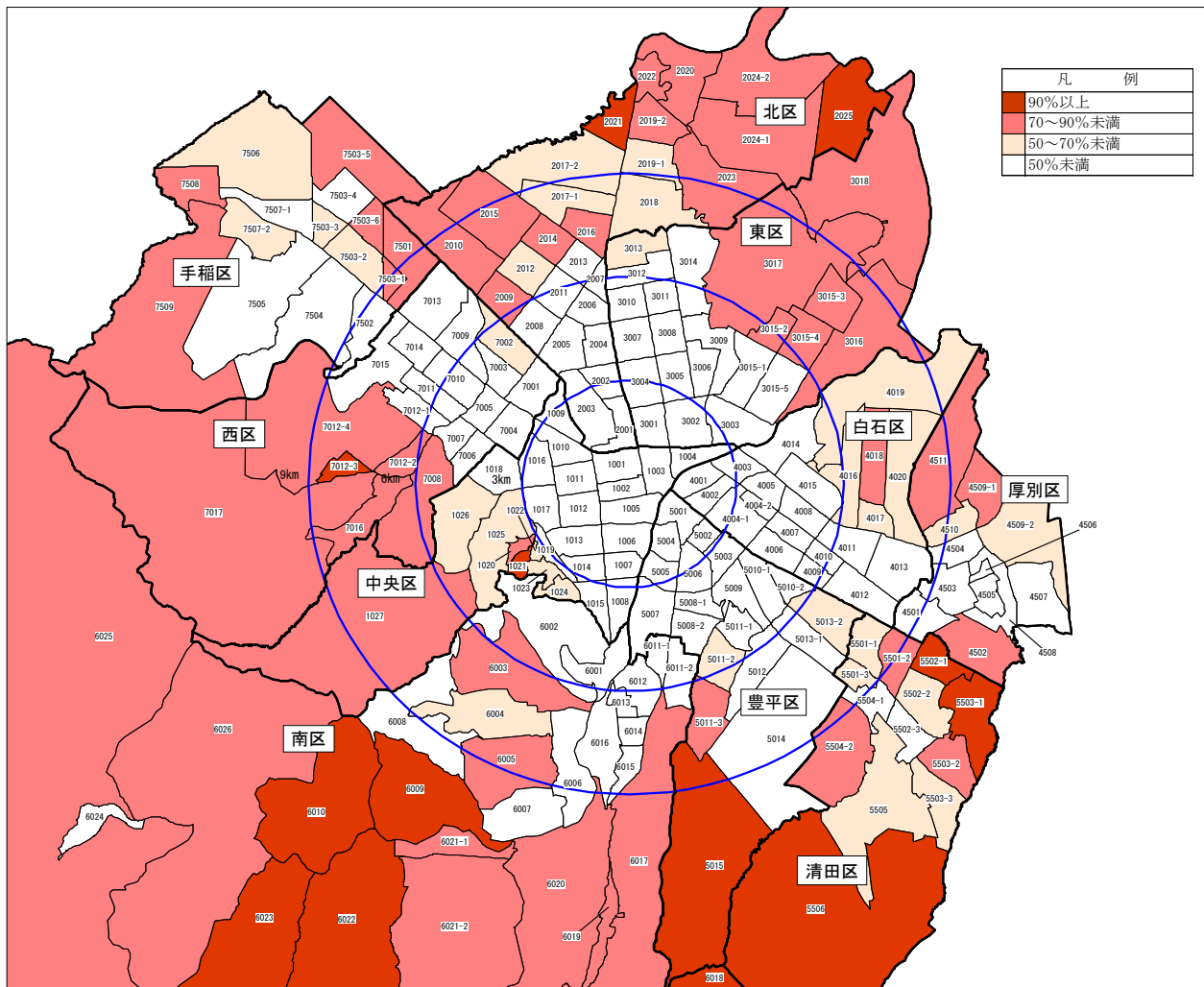
一戸建に住む世帯の割合は、都心から6km未満の統計区のほとんどで5割未満(第3-13表、第3-13図)

令和2年10月1日現在の住宅に住む一般世帯総数に占める一戸建に住む世帯の割合が高い統計区をみると、北区の2025統計区(篠路町福移)、豊平区の5015統計区(西岡)、清田区の5506統計区(有明)、南区の6009統計区(白川)、南区の6010統計区(砥山)、南区の6018統計区(滝野)及び南区の6023統計区(豊滝)がいずれも100.0%となっている。これらの統計区では、住宅に住む一般世帯の全てが一戸建に住んでいる。

一方、一戸建に住む世帯の割合が低い統計区をみると、厚別区の4506統計区(厚別中央)及び豊平区の5014統計区(羊ヶ丘)がいずれも皆無となっている。次いで、中央区の1002統計区(本府地区)が1.1%などと続いている。

一戸建に住む世帯の割合は、都心から6km未満の統計区のほとんどで5割未満となっているが、都心から離れるにしたがって高くなる傾向がみられる。

第3-13図 統計区別一戸建に住む世帯割合(令和2年10月1日現在)



注： 第3-13表参照。

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

第3-13表 一戸建に住む世帯割合の高い統計区及び低い統計区

住宅に住む一般世帯総数に占める割合である。人口が皆無の6002、6007及び6008統計区を除く。

(単位 %)			令和2年10月1日現在		
順位	一戸建に住む世帯割合の高い統計区		順位	一戸建に住む世帯割合の低い統計区	
	統計区番号及び主な地区・町名	割合		統計区番号及び主な地区・町名	割合
1	2025 北) 篠路町福移	100.0	1	4506 厚) 厚別中央	—
1	5015 豊) 西岡	100.0	1	5014 豊) 羊ヶ丘	—
1	5506 清) 有明	100.0	3	1002 中) 本府地区	1.1
1	6009 南) 白川	100.0	4	1001 中) 中央地区	1.3
1	6010 南) 砥山	100.0	5	1003 中) 東北地区、東地区	1.7
1	6018 南) 滝野	100.0	6	1011 中) 大通地区、桑園地区	1.9
1	6023 南) 豊滝	100.0	7	1005 中) 豊水地区、西創成地区	2.0
8	6022 南) 簾舞	96.5	8	2001 北) 鉄西地区、幌北地区	2.4
9	2021 北) 西茨戸	95.8	9	5005 豊) 中の島、平岸	3.0
10	5502-1 清) 平岡、平岡公園東	93.1	10	1010 中) 桑園地区	3.6
11	7012-3 西) 西野	92.7	11	1006 中) 豊水地区、曙地区	5.0
12	1021 中) 界川	91.2	12	3001 東) 鉄東地区、北光地区	5.7
13	5503-1 清) 平岡、平岡公園、平岡公園東、 里塚緑ヶ丘	90.5	12	7005 西) 琴似	5.7
14	7016 西) 福井	89.8	14	2002 北) 幌北地区	5.8
15	6021-1 南) 藤野	89.7	15	1012 中) 大通地区、西地区	5.9

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

第3-14表 共同住宅に住む世帯割合の高い統計区及び低い統計区

住宅に住む一般世帯総数に占める割合である。人口が皆無の6002、6007及び6008統計区を除く。

(単位 %)			令和2年10月1日現在		
順位	共同住宅に住む世帯割合の高い統計区		順位	共同住宅に住む世帯割合の低い統計区	
	統計区番号及び主な地区・町名	割合		統計区番号及び主な地区・町名	割合
1	4506 厚) 厚別中央	100.0	1	2025 北) 篠路町福移	—
1	5014 豊) 羊ヶ丘	100.0	1	5015 豊) 西岡	—
3	1001 中) 中央地区	98.6	1	5506 清) 有明	—
4	1002 中) 本府地区	98.4	1	6009 南) 白川	—
5	1003 中) 東北地区、東地区	98.1	1	6010 南) 砥山	—
6	1005 中) 豊水地区、西創成地区	97.8	1	6018 南) 滝野	—
6	1011 中) 大通地区、桑園地区	97.8	1	6023 南) 豊滝	—
8	2001 北) 鉄西地区、幌北地区	97.3	1	6025 南) 定山溪	—
9	5005 豊) 中の島、平岸	96.7	1	6026 南) 小金湯	—
10	1010 中) 桑園地区	96.1	10	2021 北) 西茨戸	2.1
11	1006 中) 豊水地区、曙地区	94.7	11	6022 南) 簾舞	2.7
12	3001 東) 鉄東地区、北光地区	94.1	12	5502-1 清) 平岡、平岡公園東	6.6
13	7005 西) 琴似	93.9	13	7012-3 西) 西野	7.0
14	1012 中) 大通地区、西地区	93.7	14	6021-1 南) 藤野	7.9
15	2002 北) 幌北地区	93.5	15	5503-1 清) 平岡、平岡公園、平岡公園東、 里塚緑ヶ丘	8.0

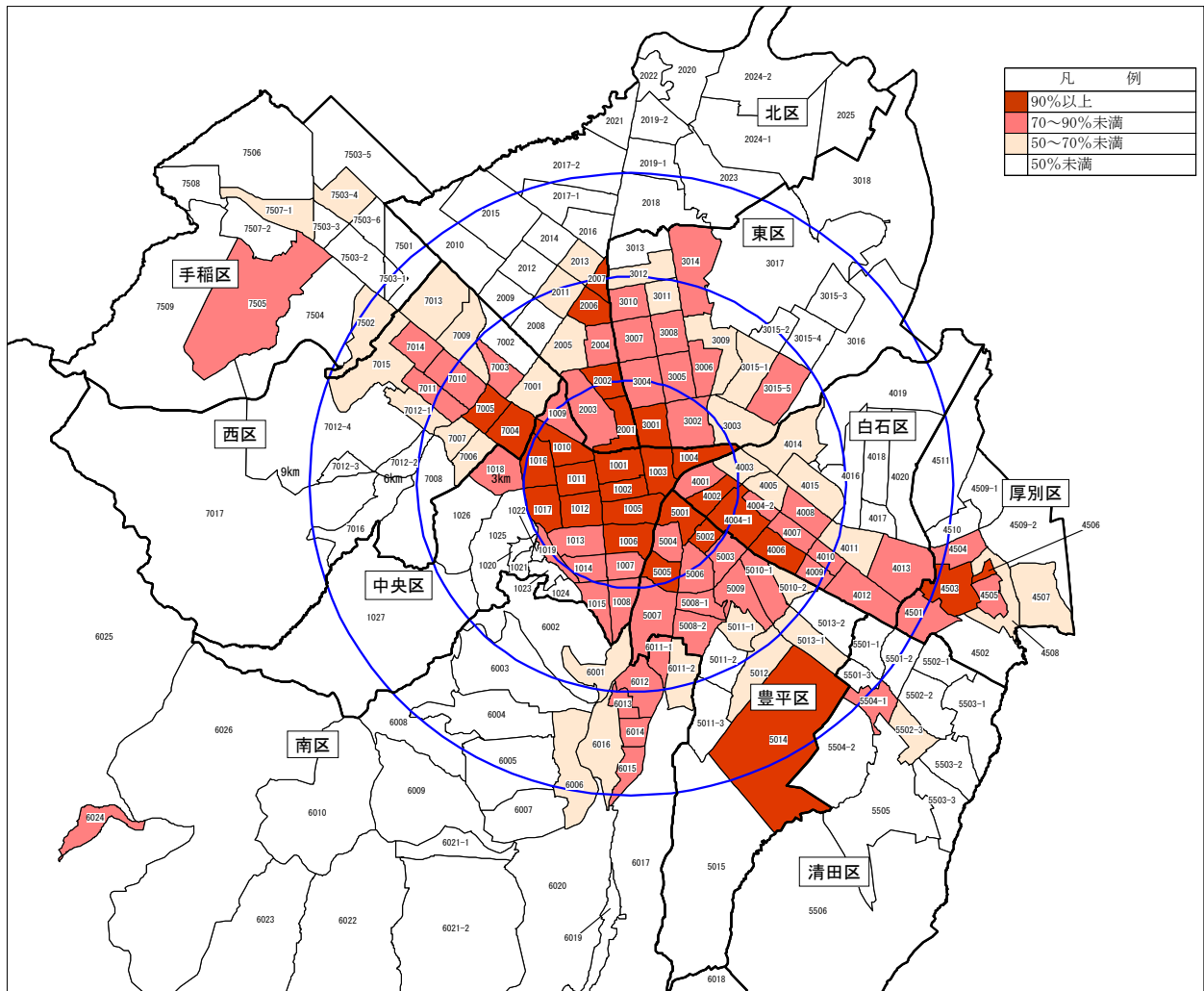
<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

共同住宅に住む世帯の割合は、都心から3km未満の統計区の多くで9割以上（第3-14表、第3-14図）

住宅に住む一般世帯総数に占める共同住宅に住む世帯の割合が高い統計区をみると、厚別区の4506統計区（厚別中央）及び豊平区の5014統計区（羊ヶ丘）がいずれも100.0%となっており、全ての住宅に住む一般世帯が共同住宅に住んでいる。次いで、中央区の1001統計区（中央地区）が98.6%などと続いている。

一方、共同住宅に住む世帯の割合が低い統計区をみると、北区の2025統計区（篠路町福移）、豊平区の5015統計区（西岡）、清田区の5506統計区（有明）、南区の6009統計区（白川）、南区の6010統計区（砥山）、南区の6018統計区（滝野）、南区の6023統計区（豊滝）、南区の6025統計区（定山溪）及び南区の6026統計区（小金湯）がいずれも皆無となっている。

第3-14図 統計区別共同住宅に住む世帯割合（令和2年10月1日現在）



注： 第3-14表参照。

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

共同住宅に住む世帯の割合は、都心部や地下鉄沿線などで高い傾向があり、都心から3km未満の統計区の多くで9割以上となっている。

第3-15表 3階建以上共同住宅の持ち家に住む世帯割合が高い統計区

住宅に住む一般世帯総数に占める割合である。人口が皆無の6002、6007及び6008統計区を除く。

(単位 %) 令和2年10月1日現在

3階建以上共同住宅の持ち家に住む世帯の割合が高い統計区の上位には、中央区の統計区が多い（第3-15表、第3-15図）

次に、分譲マンションなどが該当すると考えられる3階建以上共同住宅の持ち家に住む世帯に注目する。住宅に住む一般世帯総数に占める3階建以上共同住宅の持ち家に住む世帯の割合が高い統計区をみると、中央区の1019統計区（幌西地区、南円山地区）が62.3%

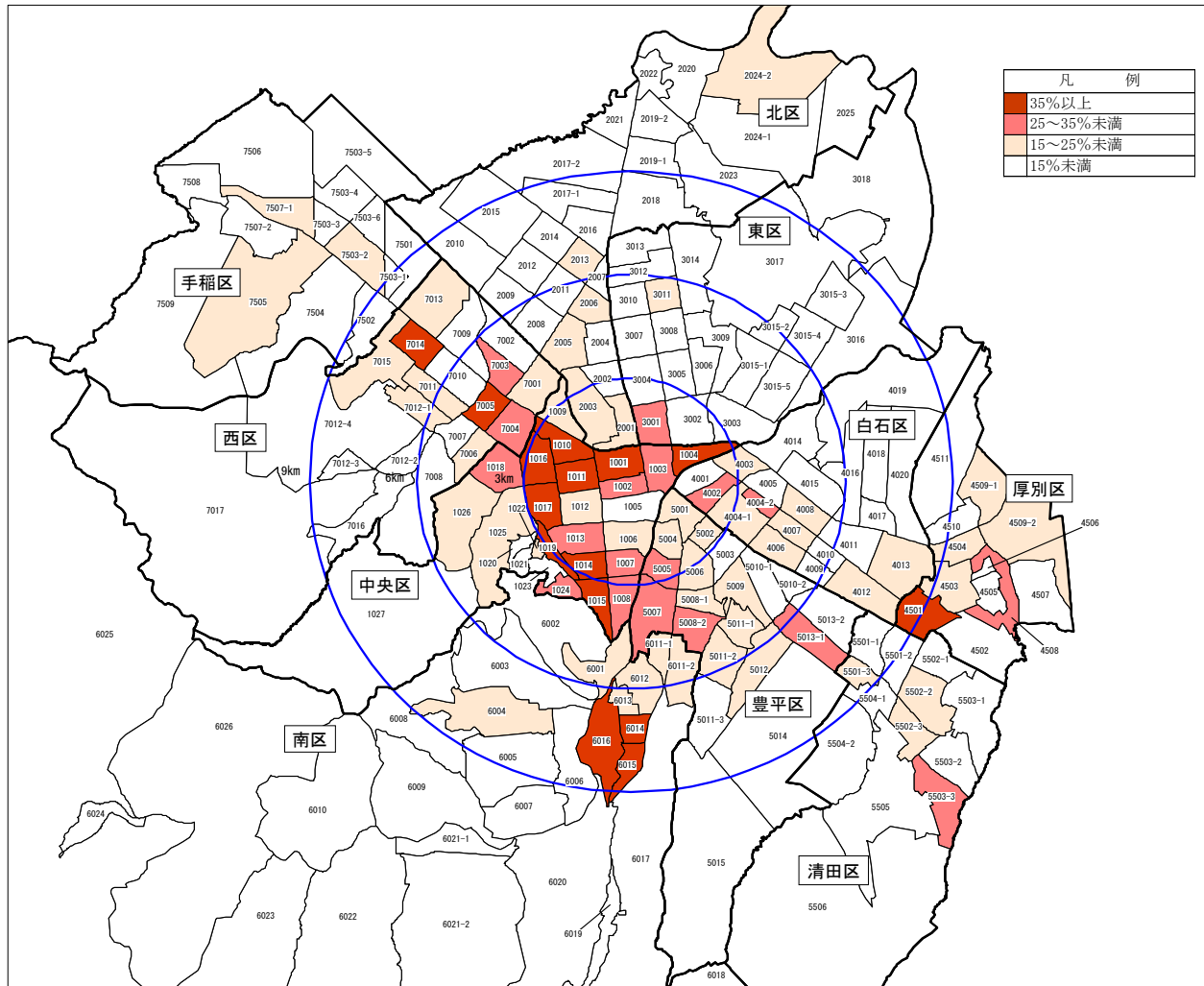
順位	統計区番号及び主な地区・町名	3階建以上共同住宅の持ち家に住む世帯割合
1	1019 中) 幌西地区、南円山地区	62.3
2	4501 厚) 大谷地東、大谷地西	48.4
3	1001 中) 中央地区	45.2
4	1010 中) 桑園地区	43.8
5	6015 南) 真駒内幸町・泉町・南町	41.9
6	1015 中) 山鼻地区	41.5
7	6014 南) 真駒内上町・緑町	39.5
8	1011 中) 大通地区、桑園地区	39.3
9	6016 南) 真駒内柏丘・緑町、真駒内公園	38.5
10	7005 西) 琴似	38.1
11	1004 中) 苗穂地区	37.6
12	1014 中) 山鼻地区、幌西地区	37.1
13	1016 中) 円山地区、桑園地区	36.4
14	7014 西) 発寒	36.0
15	1017 中) 南円山地区、円山地区	35.5

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

で6割を超えて最も高く、以下、厚別区の4501統計区（大谷地東、大谷地西）が48.4%、中央区の1001統計区（中央地区）が45.2%などと続いている。

3階建以上共同住宅の持ち家に住む世帯の割合が高い統計区の上位には、中央区の1019統計区（幌西地区、南円山地区）や1001統計区（中央地区）など中央区の統計区が多くなっている。そのほか、地下鉄駅のある統計区などでも高い傾向がみられる。

第3-15図 統計区別3階建以上共同住宅の持ち家に住む世帯割合（令和2年10月1日現在）



注： 第3-15表参照。

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」